

規模の「縮小」に騙されないぞ!

米韓合同軍事演習は

最大の戦争挑発!

**軍事演習を即時中止し、対話解決を!
トランプと共に戦争挑発する安倍政権を倒そう!**



米原子力空母『カールビンソン(左)』と『ロナルド・レーガン(右)』

●戦争挑発を続ける米日政府!

東アジアの軍事緊張がかつてなく高まっています。いうまでもなく朝鮮民主主義人民共和国(朝鮮)・金正恩(キムジョンウン)政権のグアム近海へのミサイル発射計画は厳しく非難されなければなりません。

しかし、意図的に朝鮮を国際的孤立に追い込み軍事的包囲で威嚇しているのはトランプと安倍政権です。8月8日、まず最初にトランプは、朝鮮に対し「世界史に類をみない炎と怒りで報いを受けるだろう」と挑発。これを受けて朝鮮は翌9日、ミサイル発射計画を発表しました。しかし、トランプの朝鮮挑発は止まらず、「炎と怒り」発言を「厳しさが足りなかった」として、11日に「軍事的

準備はすでに整っている」「グアムに対して何かすれば、誰も見たことのない事態が北朝鮮で起こることになる」と更なる脅しを行ったのです。

国際社会は、この危機に対し直ちに動き出しました。中国やロシアは米国に慎重対応を呼びかけ、独メルケル首相は「軍事的な解決策はない」「ドイツは軍事的でない解決策に積極的に関与する」と表明。韓国の文在寅(ムンジェイン)大統領は、トランプに「朝鮮半島で再び戦争の惨状が繰り広げられるのは決して容認できない」と明言しました。

しかし、安倍政権はこれらとは真逆の立場をとったのです。「朝鮮脅威」を声高に叫び、「さらなる行動を。トランプ大統領と完全に一致」と戦争法発動、集団的自衛権行使に動き始めました。10日、小野寺防衛相は「(朝鮮のミサイル発射は)存立危機事態にあたる」と答弁し、12日、愛媛、島根、広島、高知4県に迎撃ミサイルPAC3の配備を開始。18日には、中四国9県202市町村を巻き込みJアラート(全国瞬時警報システム)訓練を実施。まさにトランプと共に戦争する構えを見せています。

戦争によって、幾百万の市民の命がどうなろうと、まったく関心がないがごとき言動を許してはなりません。

●米韓合同軍事演習を直ちに中止せよ! 規模「縮小」のデタラメ!

8月21~31日、米韓合同軍事演習(乙支(ウルチ)フリーダムガーディアン(UFG))が行われています。規模は、6万7500人(米軍1万7500人、韓国軍5万人)を動員。コンピューターを使った図上演習が中心で、昨年より7500人少なくなっていると、規模の「縮小」がマスコミによって宣伝されています。

しかし、規模「縮小」に騙されてはいけません。その本質は恐るべきものです。今年は、オーストラリアや英国、カナダ、コロンビア、デンマーク、オランダ、ニュージーランドの7ヶ国の部隊も参加。コンピューターシミュレーションでは、兵員や物資の輸送から戦闘行為まで、朝鮮への先制攻撃などの実戦的な【裏面へ】

平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO)

TEL: 090-8536-3170 (山川)

HP <http://www.zenko-peace.com/>

【表面から】シナリオに基づいた米韓両軍と各国軍の連携作戦を進めるのです。さらに、特殊部隊『グリーンベレー』など金正恩委員長を標的とする“斬首作戦”の訓練も実施されるといわれています。また、この演習に合わせて、空母カールビンソンとロナルドレーガン、米海軍のイージス艦 10 隻、原子力潜水艦 3 隻、戦闘機 160 機等が集結するとも言われています(『週刊現代 2017 年 9 月 2 日』P44)。もちろん、自衛隊も連動して訓練をすることは間違いありません。

仮定の話ですが、もし中国人民解放軍やロシア軍が6万人規模で日本近海で合同軍事演習を行い、その内容が「日本国内に侵入し、首都東京で特殊部隊によって安倍首相を暗殺する」というものだったとしたら、みなさんはどう考えますか？

一つ間違えば戦端を開きかねない大軍事演習強行こそ最悪の挑発行為であり、直ちに中止させなければなりません。



●戦争を拒否する民衆の意思！

8月9日の長崎原爆忌に被爆者五団体の代表らと面会した安倍は、7月に国連で採択された核兵器禁止条約へ日本の不参加について、「あなたはどこの国の総理ですか」と痛烈な批判の言葉を浴びた。

また12日、名護市辺野古の新基地建設に反対する「オール沖縄会議」は、那覇市で「県民大会」を開催し、4万5千人が参加した。翁長県知事は「民意はいささかの揺るぎもない。私の責任で必ず辺野古埋め立て承認を撤回する」と決意表明し、違法・無法を繰り返し強硬に新基地建設を推し進める安倍政権を強く批判し、「子孫(くわうまが)のために、うやふあーふじぬ思(うむ)い、肝(ちむ)にすみてい、命(ぬち)かじりちばらなやーさい(子や孫のため先祖の思いを胸に刻み、命の限り頑張りましょう)」と呼びかけました。

3月、米韓合同軍事演習「キーリゾルブ・イーグル」が行われた。民主労総など41個団体がソウル・米大使館の前で抗議。「対北先制攻撃を既定事実化した軍事戦略と大規模動員、訓練の様相は、北朝鮮の反発を呼んで朝鮮半島の戦争危機をいっそう高めている」と戦争演習の即刻中止を求めた。

被曝者や沖縄の戦争につながる一切を許さぬ人々の意志は、敗戦から72年を迎える今日も脈々と引き継がれ、安倍暴走の下でいっそう強固になっています。“命の限り”と声をあげるこの闘いが、自らの政権延命のために危機をあおり、多くの市民が犠牲となる戦争につながる戦争挑発を平然と繰り返す安倍・トランプにくじかれることなど決してありません。辺野古新基地建設、高江オスプレイパッド建設や南西諸島への自衛隊配備強化を阻止するために全力を尽くしましょう。

戦争・改憲・不実の安倍政権を倒そう！ 『安倍政権即時退陣』を求める新署名に、ご協力ください！

安倍政権の下で戦争国家作りが進みました。2013年特定秘密保護法が成立。14年、防衛装備移転三原則を制定し武器輸出入を解禁。15年、戦争法制定により海外での武力行使を可能とする自衛隊が南スーダンへ派兵。今年共謀罪法を制定し、核兵器開発・保有国のインドと「日印原子力協定」が承認されました(インド「核不拡散条約」「包括的核実験禁止条約」加盟を拒否。核兵器開発・保有国)。

そして今、朝鮮危機で戦争挑発を進めています。安倍首相は、朝鮮の「脅威」を声高に叫び、「積極的平和主義」など勇ましい言葉を繰り返してきました。『存立危機事態』を持ち出した小野寺新防衛相は、「敵地(朝鮮)攻撃能力の保持を」と、過激な挑発者です。

しかし、外交の基本は、戦争しないことです。どの国のトップも、特に隣国との対立を避けるために細心の注意を払います。トランプ大統領や安倍首相のように、自ら進んで緊張を激化させ、挑発するような言動を平気で行っていることが異常なのです。今すべきことは、軍事挑発ではなく朝鮮との対話に全力を傾け外交的解決を進めることです。沖縄や、韓国など平和を求めるアジア民衆と連帯し、戦争あおる安倍を退陣させ東アジアの非核化、和平を前進させなければなりません。ZENKOは、『安倍政権即時退陣署名』運動に取り組んでいます。ご協力ください！安倍政権を運動の力で倒し、平和で民主主義の貫かれた社会をつくりだしていきましょう(8月25日)。